



サウジアラビア王国 (Kingdom of Saudi Arabia)



- 日本は、エネルギー分野を軸に、長年サウジアラビアと友好関係を築いている。近年、ビジネス・投資、人的交流といった幅広い分野に、互恵的な協力関係が拡大している。
- 世界最大の石油生産を誇るサウジアラビアの所得水準は高いが、脱石油依存と産業の多角化は重要課題である。
- 日本は、官民協力してサウジアラビアの人材育成に貢献。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 215万平方キロメートル(日本の約5.7倍)
- ・人口: 3,089万人(2014年, 世銀)
- ・首都: リヤド
- ・民族: アラブ系が主体
- ・言語: アラビア語(公用語)
- ・宗教: イスラム教
- ・政体: 君主制
- ・議会: 諮問評議会(勅選議員50名で構成)
- ・GDP: 約6,535億ドル(2015年, IMF)
- ・一人あたりGDP: 20,813ドル(2015年推定値, IMF)
- ・GDP成長率(実質): 3.4%(2015年, IMF)
- ・失業率: 11.6%(2015年上半期, サウジ通貨庁)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

18世紀半ば	第一次サウード王国成立
1818年	オスマン帝国のムハンマド・アリー総督軍により第一次王国滅亡
1924年	第二次サウード王国成立
1891年	ラシード家に敗れて、第二次王国滅亡
1902年	ラシード家からリヤドを奪還し、第三次サウード王国成立
1932年	国号をサウジアラビア王国に改称
1933年	サウジアラムコ設立、1938年にダンマン石油が発見され、石油時代が幕開け
1973年	第四次中東戦争、石油危機
1981年	他の湾岸王政国家5か国と湾岸協力理事会(GCC)を結成
1986年	国王の称号が「二聖モスクの守護者」となる

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
無償資金協力	3.83億円 (2010年度末時点)
技術協力	208.32億円 (2010年度末時点)

※サウジアラビアは、2008年にDACの援助対象国リストから外れ、これに伴い日本は2010年度末をもって同国へのODAを終了した。

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からサウジアラビアへの輸出	約8,260億円 (2015年, 財務省貿易統計)
サウジアラビアから日本への輸出	約3兆352億円 (2015年, 財務省貿易統計)
日本からサウジアラビアへの直接投資	42億4,281万ドル (2006～2015年の累計, ジェトロ統計)
在サウジアラビア日系企業数	119社 (2015年10月1日現在, 外務省統計)
技能実習制度による就労者数	45人 (2015年末時点, 法務省統計)

人的つながり

項目	人数(直近年)
サウジアラビアにおける在留邦人数	1,036人 (2015年10月時点, 外務省統計)
在日サウジアラビア人数	1,007人 (2015年末, 法務省統計)
サウジから日本への留学生数	587名 (2015年5月時点, (独)JASSO調査)

	サウジ日本自動車技術高等研修所(SJAHII)	プラスチック加工高等研修所(HIPF)	サウジアラビア電子機器・家電製品研修所(SEHAI)
開校時期	2002年9月	2007年9月	2009年9月
所在地	ジッダ市	リヤド市	リヤド市
日本側協力機関	日本政府、国際協力センター、日本自動車工業会他	サウディ石油化学、中東協力センター	中東協力センター(大手家電メーカー各社の技術協力、日本エム作成協力)
卒業者数	2,242名 (2015年3月現在)	930名 (2015年3月現在)	325名 (2015年3月現在)

日本とサウジアラビア王国との協力年表

ミシュアル・ジッダ知事と第6期卒業生。



SJAHIIのスキル・コンテストの様子。



年代	案件
1955年6月	日・サウジアラビア国交樹立
1975年3月	日・サウジアラビア経済技術協力協定締結
1976年1月	経済技術協力協定に基づき第1回日サウジ合同委員会がリヤドで開催以来、現在まで11回開催
1997年11月	橋本総理(当時)のサウジアラビア訪問時に双方で外務当局間の次官級政策協議の立ち上げで一致
2002年9月	サウジ日本自動車技術高等研修所(SJAHII)開校
2007年4月	安倍総理のサウジアラビア訪問に際して、「日・サウジ産業協力学務所」の設立が決定
2007年9月	プラスチック加工高等研修所(HIPF)開校
2009年7月	航空協定発効
2009年9月	サウジアラビア電子機器家電製品研修所(SEHAI)開校
2009年11月	住友化学とサウジ・アラムコの合併会社による中東北アフリカにおける史上最大の投資案件ペトロラービグ(石油精製と石油化学の統合複合施設)が完工
2010年3月	サウジアラビアの所得水準の向上に伴い、日本は、対サウジODAを終了
2011年3月	東日本大震災に際して、サウジアラビアからLPG支援等が供与
2011年9月	租税条約発効
2013年4月	投資協定署名(未発効)
2016年9月	ムハンマド副皇太子の訪日に際し、サウジアラビアの成長戦略「ビジョン2030」の実現に向けた協力の枠組みとして「日・サウジ・ビジョン2030共同グループ」の設置を両国で決定

産業タスクフォースの3本柱

1 サウジアラビアへの投資を検討する日本企業への支援



2 サウジアラビアにおける人材育成支援



3 サウジアラビアにおける中小企業政策協力



サルマン・リヤド州知事(現国王)によるHIPF視察。



奥田碩総理特使によるHIPF視察。



アハマド・ディーラーヤ県知事によるSEHAI視察。



研修生と関連企業関係者の集合写真。



ペトロラービグの複合施設。



「日・サウジ・ビジョン2030共同グループ」の設置を決定した安倍総理とムハンマド副皇太子。

